

若年船員確保対策事業の出前講座実施！

去る2月25日（金）、鹿児島内航海運組合は令和3年度船員確保対策事業として、九州運輸局鹿児島支局との共催で、枕崎市にある鹿児島県立鹿児島水産高等学校にて、1年生37名（海洋科）に対し出前講座を実施した。

【実施内容】

- ① 運輸支局運航担当の高田首席による、出前講座の主旨説明及び講師紹介。
- ② 運輸支局船員担当の中尾首席がDVD「海を駆ける若者たち」「日本の産業と暮らしを支える内航海運」を使用し、その後、船員という職業について、「基礎知識と現状」と題し、外航海運と内航海運の違いや、内航海運が地球環境に優しいこと等、また、船員の職種や給料及び勤務スケジュール・休暇等について、自分の子息の体験等を含め、説明。

説明終了後、質問の時間を設けましたが、特段の質問は無かったものの、講義の中での休暇及び給料等については、興味深そうに聴講していた。

後日、運輸支局から「生徒の感想文を拝見すると、改めて、給料の話や労働時間の話に興味を持っている生徒が多く感じる。具体的な内容の話もしたので、現実を知ることができ、大変参考になったようだ。」との報告があった。

鹿児島内航海運組合は、内航海運の課題である若年船員確保に向けて、今後も鹿児島運輸支局及び組合員事業者と連携しながら、このような取り組みを継続していきたいと考えている。

